



Japan Society of Civil Engineers

International Activities Center

国際センター通信 (No. 53)

ECCE の活動紹介

国際センター通信第 53 号にて、ヨーロッパ土木技術者評議会 (European Council of Civil Engineers : ECCE) をご紹介します。

土木学会は 1995 年 1 月に英国ロンドンにて ECCE との間で協定書を締結した。以来、20 年余のお付き合いとなる。近年では、本会が 2014 年 11 月に創立 100 周年を迎えるにあたり、ECCE 加盟国に向けて記念式典などのご案内するため、2013 年春、小野武彦第 100 代会長がポルトガル・リスボンで開催された ECCE 総会に参加した。

昨年 (2016 年) の 8 月に ECCE から、同会のニューズレター “e-Journal” (<http://www.ecceengineers.eu>) への投稿のお誘いがあり、それを受けて、編集子は土木学会の紹介記事を寄稿した。同時に、ECCE にも「国際センター通信」への投稿を提案したところ、以下の ECCE の活動紹介文をお寄せいただいた。

ECCE には 2016 年の時点で、メンバーとなっている 23 の土木技術者団体のうち、欧州連合加盟国が約 7 割を占めており、まさにヨーロッパの土木学協会の連合体となっている。

ヨーロッパ土木技術者評議会 (ECCE) とは

ECCE は、土木技術者がヨーロッパ内で協働すれば、ヨーロッパが人工環境を発展させ、自然環境を保護するために、より多くの貢献を果たすことができるというヨーロッパにおける土木技術者の専門職業団体の共通の関心から、1985 年に設立された。

欧州連合レベルでは、ECCE は、最高の技術基準や倫理規範を普及させること、公平な助言の根拠を提供すること、建設産業における他の汎ヨーロッパ組織との協力を促進させることを目指している。ECCE はまた、個々の政府や専門職業団体に助言を行い、影響を与えており、基準を策定し専門職業を規制する異なる規約を相互に融通できるようにし、土木工学に係る専門職のヨーロッパの行動規範や欧州連合全体に適用することのできる懲戒手続きの基準を策定する。

ECCE は、土木工学の教育、訓練および専門家の能力の維持および向上、ならびに関連業界におけるユーロコード、標準および規制を相互に融通できるように支援し、業界における安全性や品質レベルの向上を奨励し改善するためのガイドラインを策定する。

ECCE のホームページ (2017 年 2 月 27 日現在)

ECCE は、環境、研究開発、教育訓練、倫理、継続的な専門能力開発、輸送と責任、ワークショップや会議の開催などの分野で活躍している。ECCE の標語は以下のとおりである。

「社会の中核にある土木技術者は、生活の質と持続可能な環境を築く」

(Civil Engineers at the Heart of Society building Life Quality and a Sustainable Environment)

ECCE に関する情報は以下のウェブサイトをご覧ください。 <http://www.ecceengineers.eu>
ECCE の歴史に興味のある方は「30 年の ECCE の歴史 (30 Years of ECCE History)」
をダウンロードしてください。

http://www.ecceengineers.eu/papers/files/ECCE_History_book_by_page.pdf

第 4 回留学生向け企業説明会の開催

国際センター留学生グループでは、日本で学ぶ留学生に日本の土木関係の企業を知ってもらうとともに、就職情報提供の機会として、2016 年 12 月 17 日 (土) に留学生向け企業説明会を土木学会 (東京) にて開催した。今年で 4 回目の開催となる。企業 7 社のご協力をいただき、プレゼンテーション、企業ブースによる個別説明、またパンフレットの配布も行った。参加留学生は 35 名で、主に関東の大学からの参加であった。



参加企業による企業説明の様子

【参加企業】戸田建設 (株)、大日本土木 (株)、(株)エイト日本技術開発、(株)大林組、八千代エンジニアリング (株)、日本工営 (株)、(株)片平エンジニアリング・インターナショナル

本説明会は 3 部構成で、セッションは全て英語で実施された。第 1 部では、特別講演として国土交通省海外プロジェクト推進官・藤井和久氏より国土交通省の海外展開についてお話をいただいた。また、元留学生で日本企業に勤める金 淨晃氏 (大林組) に経験を語っていただいた。第 2 部では各企業から 10 分ずつの企業説明があり、プレゼンテーションでは、国際経験の豊富な日本人スタッフに加えて、



企業ブースでの個別相談の様子

日本での留学経験を持つ中堅・若手の外国人スタッフが登壇し、企業の特徴、海外プロジェクトや業務内容、留学生の採用についての情報が提供された。留学生は興味深く傾聴し、日本の建設関連企業の情報を収集していた。第 3 部では、参加者が複数の企業ブースに個別訪問し、企業の詳細や採用情報などを収集するなど、留学生の熱意がうかがえた。

本説明会に参加頂いた企業からは、来年度以降も継続的に参加したいとの感想をいただいた。また昨年に続いて今年も参加している留学生が多くみられ、本説明会のニーズの高さを改めて実感した。日本の建設業の海外展開の重要性が広く認識される昨今、留学生に日本企業の情報を提供し、活躍の機会を逸しないような持続的な取り組みが望まれる。留学生の就職が増えるということは難しいことと思われるが、留学生グループでは継続して留学生と日本企業が情報交換できる場を提供していく所存である。

【記：国際センター 留学生グループ・リーダー 齊藤正人（埼玉大学）】

CICHE 2016 年次大会参加報告

2016 年 11 月 18 日～19 日に、台湾の台中市にて中国土木水利工程学会（CICHE）の年次大会が開催された。初日 18 日午前中は、台中市内の 2 現場を見学、午後はインターナショナルフォーラム、2 日目 19 日午前中は本会議、午後は教育論壇の内容であった。

現場見学にて、最初の現場は、建設中の高速鉄道 MRT プロジェクトの高架駅で、品質安全衛生環境を考慮した施工管理が行き届いていた。二番目は最近完成した国立台中劇場で、地元の建設会社が、曲面の多いコンクリート構築を工夫して施工し、設計者伊東豊雄氏の意図を見事に具現していた。

インターナショナルフォーラムにて、主催国台湾の他香港、韓国、日本が海外プロジェクト、ジャカルタ MRT、バンコク MRT、第 3 ポスプラス橋、台湾高雄 MRT について、海外において困難を克服しプロジェクトを運営した事例を発表し、技術交流した。筆者は、高雄 MRT における台湾と日本の建設会社の JV 運営について事例発表した。

本会議にて、呂良正会長が開幕講演、呉宏謀行政院公共工程委员会主任委員が台湾公共プロジェクトの課題について講演し、功労者賞、論文賞等様々な表彰式が行われた。

教育論壇は、水源保持、技術教育Ⅰ、地下施工、法律、技術教育Ⅱ、労働安全衛生の 6 分野の講演が用意され、参加者はその内 2 分野を聴講できる仕組みとなっていた。筆者は、地下施工と労働安全衛生を聴講し、最近の台湾の事情を認識した。

筆者は、台湾高雄地下鉄工事に 2002 年から 2010 年まで従事し、日本土木学会台湾分会においても 2008 年から 2010 年まで活動してい



石塚一郎（鹿島建設）



伊東豊雄氏設計による国立台中劇場を見学



インターナショナルフォーラム参加者（筆者は前列右から 4 番目）

たので、正修科学技術大学柯武徳助理教授、台湾分会秘書長を含め台湾土木会に知人がいる。本総会出席中、旧知の知人と面会でき、また新たに面識を得た方々が間接的な知人である場合もあった。台湾土木学会、韓国土木学会、亜細土木工務聯盟と交流できたことは有意義であった。今後も面識を得た方々と交信し、交流を続けたいと考えている。



教育論壇のひとつま（地下施工）

お知らせ

- ◆土木学会誌 2017 年 3 月号の特集記事の概要を JSCE の Website（英語版）にアップしました。
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆100 周年記念事業「インフラ国際協力・国際貢献アーカイブス」の冊子に記載された五つのプロジェクトが JSCE の Website に掲載されています。
<http://www.jsce.or.jp/e/archive>
- ◆土木学会コンクリート委員会 ニュースレター No.48 が発行されました。
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/newsletter48/index.html>

配信申し込み

「国際センター通信」配信の申し込みは以下の URL よりお願いいたします。また、周囲の方に国際センター通信をご紹介いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・日本語版：(<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・英語版：(<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

国際センターの英語版 Facebook です。直近の国際センターの活動について紹介していますので、ぜひご覧ください。(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】：JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。